



周南からCARBONNEUTRALを世界へ

ブルーベリーカーボンプロジェクト
統括プロジェクトリーダー
西部晴香/井上鳳斗(SDGsアンバサダー)

周南公立大学SDGs・ダイバーシティ・インクルージョン推進グループ×SDGsアンバサダー
ブルーベリーカーボンプロジェクト/SDGsアンバサダー

学長も参加する教職員のSDGs研修を企画運営

テーマ：
学生と教職員が共に取り組
めるSDGs活動について

テーマ：
学生と教職員が共に取り組

学長

井上

井上

学内記念植樹担当 原天音・宮澤若那

広報担当 菅谷拓海

西部



住吉中学校生のSDGs勉強会を運営/マップを作成し市役所寄贈





手話について考えるワークショップ
•手話がどんな時に必要になるのか
•大学生が手話を学ぶ意味

学長

菅谷

井上

西部

学長も参加した手話教室を在学生と地域の方を招き企画運営

井上

西部

学長

市長との対話集会に参加



井上

子ども食堂に参加中





徳山商工講義参画



学長

井上

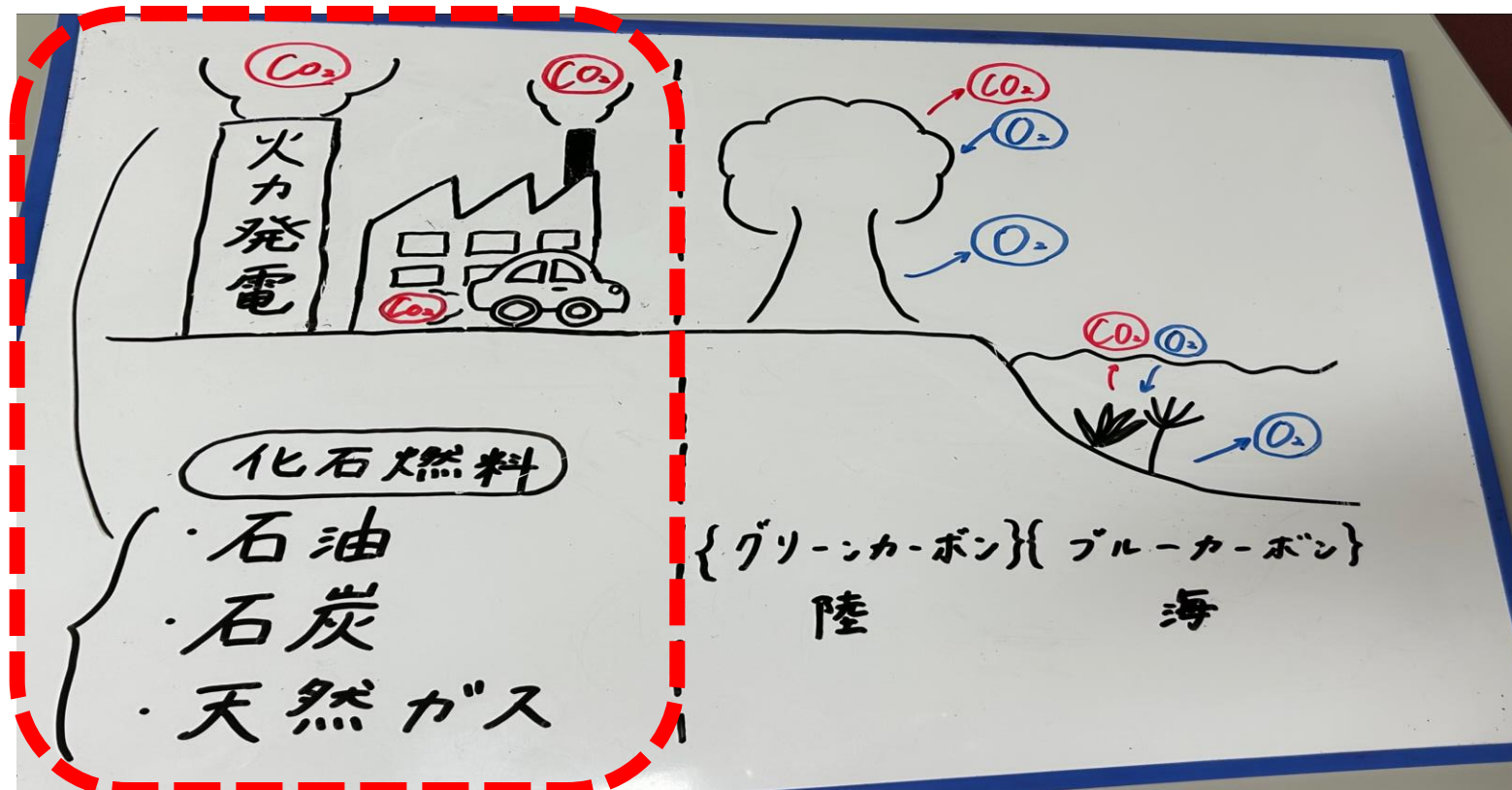
菅谷

教育フォーラム参加

大学内での教育フォーラムを
きっかけに
学生主体の徳山商工の講義の
企画運営サポートに参加中

現状分析と課題

現在、CO₂の増加が問題になっている。企業や私たちの消費活動で地中にある化石燃料を使用し、それによってCO₂が大気中に排出されるという現状がある。課題は大気中の二酸化炭素量を増やさないことである。



今回取り組みたいのは 周南から世界に向けて カーボンニュートラル啓発活動

周南公立大学も大島干潟にブルーカーボンクレジットとして支援をしているが、個人で資金支援やブルーカーボンの維持活動にはハードルが高い

「周南から発信する未来のカーボンニュートラル社会」を開催しました

目的

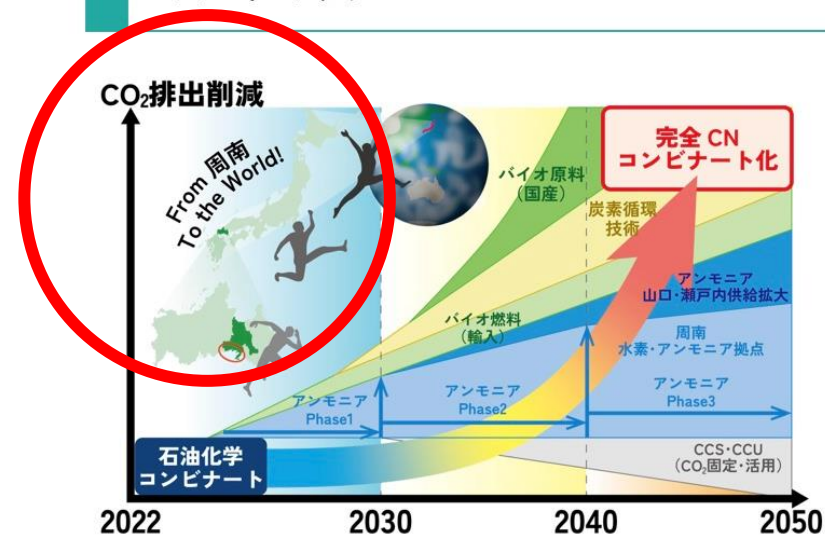
コンビナート企業5社、化学工学会、市を構成員、国、県、学識経験者をオブザーバーとする「周南コンビナート脱炭素推進協議会」を2022年1月に設立し、周南コンビナートの産業競争力維持・強化と脱炭素化の両立に向けた取り組みを推進しています。

その一環として、産学官、地域、コミュニティがともにカーボンニュートラルについて考えることを目的にシンポジウムを開催しました。



周南市はカーボンニュートラル啓発活動に取り組まれています

周南コンビナートカーボンニュートラルロードマップ



大手企業も連携して
カーボンニュートラル実現へ



学内でSDGs・ダイバーシティ・インクルージョン推進の呉先生に学内SDGs活動の第2弾として学生が初めてプレゼン(第1弾は昨年へちま栽培)



学内キックオフプロジェクトリーダー
廣瀬彩乃



光市梅小町でお世話になっている繁農園の社長に育て方など相談



SDGsアンバサダーとしても
カーボンニュートラル
啓発活動に取り組むために
先輩として2年が記念植樹準備



**自分たちの大学を自分たちで綺麗に
目指せ! フォトスポット**

周南公立大学新入生記念植樹として実施しました/植樹2年担当 原天音・宮澤若菜・末田南夢・森あい子



SDGsカーボンニュートラル啓発活動



目的

ブルーベリーの木を植えて二酸化炭素を閉じ込め、大気中の二酸化炭素を減らす「ブルーベリーカーボンプロジェクト」で、できる範囲は限られている

このプロジェクトは大学生はもちろん家族で楽しめる取り組みとして、未来に向けた意識改革を目的とする

渋沢栄一氏の「一滴が大河に」を掲げて取り組む
周南公立大学生がイノベーターになります





SDGs推進宣言を掲げている大学として

内容

学外

活動/周南地区の企業や個人を対象にグリーンカーボンの取り組みとしてブルーベリーの木を植え、育てる活動に参加してもらう。



地域連携/学内と学外で実行委員会を組織する(SDGsアンバサダーの学生が代表を務める)

学内



活動/SDGsアンバサダーの学内での取り組みとして、ブルーベリーを地域共創センターの横にある花壇に植え、シンボルツリーにする。
毎年新入生入学記念植樹を続けていく。
シャンパンタワーの法則では学生は注ぎ続ける役割を担う。
将来はこの植樹を地域連携で一緒の行事にしていき、新入生と地域の経済人等のつながる交流の場に

学外

×

学内

ブルーベリーを選んだ理由



海のブルーカーボンと陸のグリーンカーボンの両方をイメージさせることができる

実がなるので、家族や友達など一緒に楽しむことができる。

これからの高齢化社会に
適している
《鉄分など栄養豊富》

育てるのが簡単

何でブルーベリーなの？の会話をつくりだします

【啓発活動のPR】

- ①大学では毎年、新入生記念植樹を実施
- ②市役所に寄贈(動物園で啓発活動&動物のエサやり体験にも)

【地域と共に啓発活動】

- ③地元企業や市民、学校、コンベンションなど団体に参加を呼びかけみんなでブルーベリーを育ててカーボンニュートラルの意識を育てるまちとして活動の輪を全国に広めていきたい

【活動の輪を発展途上国の子どもと交流に】

- ④収益の一部で人口減少問題の解決策の一つとして地域の子ども食堂(食育活動)へのサポートや周南公立大学で学生が学びを高める手段の一つにカラバス様を通じてネパールやマラウイの学校にブルーベリーを寄贈し、大学生と発展途上国子どもたちとの交流につなげていく(内諾済み)

今後、取り組みたいこと

実行委員会を組織して地域にブルーベリーのセットをつくります。**記念植樹ができる観光農園・観光地をつくり**、休耕田なども活用し、バーベキューのできる場所や空き屋なども借りて憩いの場をできればと考えています。周南から「カーボンニュートラル」のシンボルツリーとしてブルーベリーのまちとし世界にむけてブランド化します。世界有数の企業が存在する化学コンビナートのまちでしかできない**差別化したブルーベリーのまち**になると信じています。今後、地域連携の輪を広げていき、たくさんの若者が参加する学びの場にしていき、新しいビジネスを創発する

地域連携と広報活動

- ・ **スタートとして広報にかける(啓発活動に市長へ寄贈式/動物園のぞうさんの水浴び場に設置し周南だけでなく、世界の子どもたちの誕生の記念植樹にすることを考えています)**
- ・ **周南地区で協力団体を募る**
- ・ **3年後に300か所/年100か所設置を目指しているので、地域の各企業様でブルーベリーを設置頂ける協力をお願いする**



動物園



企業

周南からCARBON NEUTRALを世界へ

プランターに啓発活動のパネルを設置した見本



こどもまんなか宣言を掲げる
まど・みちおさんの故郷周南市
徳山動物園のぞうさんの場所に
子どもたちの誕生の記念植樹と
して設置(毎年寄贈していく)



自分たちが未来暮らすまちを、自分たちで今、課題発見・課題解決する



井上・菅谷・西部

学内子ども食堂&食育
立ち上げ説明会

子ども食堂ちるちるネット代表 原田様が
ちるちあネットの集会で活動紹介の時間を

地域の人と連携し、大学生がまちづくりの推進力になる

昨年度から継続中の住吉中SDGs勉強会
今年は学生SDGs活動として紹介



菅谷



市長

ライオンズ例会で
藤井市長を前に報告

徳山中央ライオンズ会長 金子様が
例会で活動紹介の時間を

徳山動物園にもブルーベリーだけでなく
学生が訪れる仕組みを相談することに

人と人のつながりを大切に、すべての学生が地域の方と交流する場
を学内につくります。みんなでこのまちを良くしていき、このまち
で就職や子育てをしたい地域を目指します。大学があるまちとして
全国モデルケースにします。

今週の月曜日に学長へのプレゼンもおこないました

国際ソロプチミスト徳山様など団体や企業様に
プレゼンをしてまいります

現在、SDGs活動関連のプロジェクト(進行中)

自分たちの暮らす未来のまち、地域と一緒に自分たちが課題発見・課題解決する推進力になる

①ペットボトルキャップを市役所に届けワクチンにする企画

- ・ 呉先生には提案し、総務の許可を頂き、回収箱の設置予定
- ・ 中高生と連携してペットボトルキャップを使ったアート大会もしくは、回収箱のデザイン大会なども将来的には実施予定

②こどもまんなか食育プロジェクト(ブルーベリー横で展開)

- ・ ブルーベリーの延長として呉先生には提案。SDGsアンバサダーだけでなく執行部など様々な団体と連携した活動を目指す
- ・ 子ども食堂や学童、児童クラブで大学生と子供たちが一緒に野菜を育てる。食育の大切さを自分たちだけでなく、地域に啓発活動を展開
- ・ 周南市の「こどもまんなか宣言」と歩調をあわせて、子ども食堂団体と連携して、貧困や居場所づくり、中山間地域の活性化にもつなげていく
- ・ サッカーグラウンドの花壇(総務の方に依頼中)や駐車場横のり面などの学内許可を頂ける場所に花やブルーベリー、野菜を育てる企画を予定(案)

③動物園だけでなく、地域のまつりに大学生が遊びに行き、地域を好きになる活動

- ・ 動物園と相談し、学生がいく企画などを検討中
- ・ このまちを好きになり、このまちを良くし、このまちで子育てをする



子ども食堂で使う野菜を栽培スタート



ほたるまつりに参加市長と記念撮影させて頂きました



花壇

BLUEBERRYCARBONPROJECT
CARBONNEUTRAL啓発活動

周南公立大学
SDGsアンバサダー企画
#ブルーベリーカーボン



BLUEBERRY CARBONPROJECT

CARBONNEUTRAL啓発活動



【カーボンニュートラル】

SDGs(SustainableDevelopmentGoals)は2015年9月25日に国連総会で採択された、持続可能な開発のための17の国際目標です。カーボンニュートラルとは、温室効果ガスの排出量と吸収量を均衡させることを意味しています。周南公立大学SDGsアンバサダーは陸の「グリーンカーボン」と水の「ブルーカーボン」をイメージさせるブルーベリーを使い「何でブルーベリーなの?」という家族や仲間の会話をつくりだします。そして人と人のつながりを大切に「カーボンニュートラル」の啓発活動を周南から世界へ展開していき、「持続可能な未来」のバトンを手渡していきます。



【記念日「ぞうさんの日」11月16日】絵本と物語のある街が家族・絆の記念日として、11月16日を記念日「ぞうさんの日」として登録。

周南からCARBONNEUTRALを世界へ

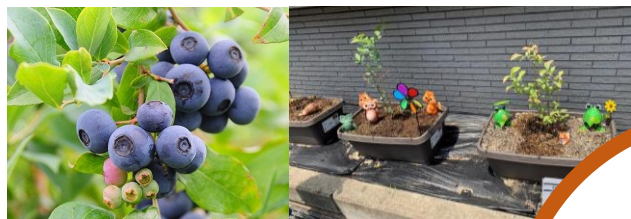
設置パネルの内容

①周南公立大学生入学記念植樹



将来、記念植樹を地域と連携して開催し、交流の場に

周南からCARBON NEUTRALを世界へ



私たち学生が未来このまちで暮らしていくために地域の方に仲間になって頂き一緒にこのまちの課題を解決していき私たちがこのまちで暮らす選択で持続可能なまちの推進力になる

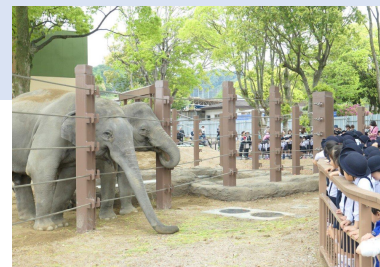
②地域全体でカーボンニュートラルに取り組むまちにする

カーボンニュートラル啓発活動

地域連携で実行委員会を組織



企業が参加してブルーベリーを育てる



動物園にこども誕生にブルーベリー記念植樹



家族が参加してブルーベリーを育てる

将来は休耕田を活用した課題解決型ビジネスに《実行委員会の農業法人と連携》

③ブルーベリー販売収益の一部で持続可能な学生活動へ

実行委員会が運営

参加企業や団体と大学生がつながるきっかけにしていき、地域と学生の交流会を予定

③発展途上国の子どもたちにブルーベリーの苗木を届け交流へ

発展途上国で教育事業を展開するカラバス様と連携
大学生が世界とつながるきっかけにする



カラバス様はSDGsアンバサダー仲間が春休みに海外で勉強をさせて頂いた団体



③人口減少の対策の一つとして子ども食堂や学童などで「食育」を通じて子育て環境をサポート



子ども食堂設立学内説明会

- ・ 貧困問題
- ・ 不登校
- ・ 経済問題
- ・ 食料問題
- ・ 教育格差等

大学生が大学で学んだ知識を活用して地域課題を解決する
学内での子ども食堂の立ち上げに参画するなど子育てしやすいまちに



子ども食堂で使う野菜を子どもたちと一緒に育てる

ご検討いただけましたら幸いです

- カーボンニュートラル啓発活動の応援企業・団体として参加して頂ければ幸いです
- カーボンニュートラル啓発活動として応援企業としてブルーベリーをご購入いただければ幸いです
- 企業内で参加者を呼びかけて頂けましたら幸いです

※学内で記念植樹した見本写真
※基本セットはプランターとブルーベリー苗木で実行委員会で用意中（1セット5000円以内で準備中/金額は実行委員会で調整中）

学生が後日、100均で購入したグッズを飾り付けをしたブルーベリーセットのイメージ写真となります